

第1号様式

市民との意見交換会・報告書

開催地区：大戸地区	開催日時：令和6年5月14日（火） 18時00分 ～ 19時50分
担当班：第2班（出席議員）平田久美、高梨浩、原田俊広、長郷潤一郎 （欠席議員）戸川稔朗	
開催場所：大戸公民館	
参加人数：男性 8名、女性 0名、合計 8名（うち班外議員 0名） （ほか市職員6名（大戸公民館長1名、地域づくり課2名、議会事務局3名）が傍聴）	
会場の雰囲気、次回に向けての反省点、申し送り事項など 1. 意見交換の総括 (1) 議会報告、市政全般についての総括 ① 2月定例会議について 工業団地造成について、複数の方から意見が出された。 ② 市政全般について（市のまちづくりに向けた課題） 学校給食費の無償化の是非、サルによる農作物被害対策を求める意見があった。 【その他の主な意見等】 ・ふるさと納税額の増額した理由について ・市の移住対策の実績について など (2) 地区別テーマについての総括 ① 地区別テーマ 「大戸地区のまちづくりについて ～みんなが住みよいまちのために～」 ② テーマ設定の理由、背景 人口減少の影響を受け、町内会等役員のなり手不足などにより地域活動が停滞している現状を、大戸地区においては各種団体が連携を図ったり、まちづくり協議会を設置するなど、先進的な取組を行っているが、まだまだ解決できていない課題が多いと聞き及んでいる。地域と行政との連携の強化や、行政内部の連携強化による地域課題解決など、これまでの地域の取組によっても足りない事や不都合な事をみなさんから伺い、議会として課題解決につなげるためテーマとして設定した。 ③ 主な地域課題 各種団体役員の担い手不足の現状を打開するため、大戸まちづくり協議会が、各種団体の活動（補助金等の受け入れ含む）や役員を重複して行うことができるかなど、協議会活動が地域活動との連動をどのように図っていくか模索している現状である。	

○ 議会報告(定例会など)、市政全般(市政・議会運営に関する意見交換)について

※分類 ●議会に関するもの ○市政に関するもの
 ※番号 ①回答(処理)済 ②ご意見として伺った事項
 (含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	処理状況			※項目 キーワード
		分類	番号	対応	
人口を増やすためには働く場所が必要だ。工場誘致はどうなっているのか。	今年度から計画を立てて、河東地区に新たな工業団地（7区画）を造成する予定となっている。	○	①		企業誘致
工業団地にはどんな企業を誘致しようとしているのか。市長のトップセールスをしっかりやってほしい。	現在、有力な企業として2社が入ってくると聞いているが、確定しているものではない。	○	①		企業誘致
学校給食費の無償化をすれば、家庭的にも負担が減って助かるのではないかな。	議会としては令和5年6月に学校給食費の無償化または一部無償化にかかる陳情を受け、採択している。	○	①		学校給食
学校給食費の無償化はいかがなものかな。	給食費の無償化については様々な考えがあるので、国・県の対応を注視しながら議論していく。	○	①		学校給食
ふるさと納税額が増えた理由は何かな。	令和5年からふるさと納税に係る業務を委託したことによる効果が考えられるのではないかな。	○	①		税
令和5年からサルの集団による農作物被害が発生している。クマ、イノシシ被害対策に加えて対策を講じてほしい。	市は現在も対策を講じているが、更なる対策を求めている。	○	①		鳥獣対策
市の移住対策の実績はどうなっているかな。	令和5年の移住者は多くなっており一定の効果は出ていると聞き及んでいる。	○	①		行政
会津鉄道と東武鉄道を電化で結んで、地域の活性化を図ってほしい。	ご意見として伺う。	○	②		交通

○ 地区別テーマでの意見交換について

→ 大戸地区のまちづくりについて ～みんなが住みよいまちのために～

※分類 ●議会に関するもの ○市政に関するもの
※番号 ①回答(処理)済 ②ご意見として伺った事項(含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	処理状況		
		分類	番号	対応
	大戸地区におけるまちづくりの課題・問題について教えていただきたい。			
地域にはいろいろな団体があり、やっていることが似通っている。 各種団体役員の担い手がいなくなっている。	人材不足問題は戸地区だけではない。団体の再編や後継者づくりの問題など様々な問題があると思っているので、議会として先進地調査などを行いながら研究し、みなさんと意見交換していきたい。	○	①	
各種団体の活動（負担金補助金対象活動）をまちづくり協議会としてやれないか。	任意団体として市からの要請により活動している団体があることから、まちづくり協議会として活動することができるのかなど、調査・研究をさせていただきたい。	○	①	
町民がまちづくり協議会の活動を認知し協力するまでには至っていない。 市でPRなどをやってもらえないか。	まちづくり活動に限らず、多くの人にもいろいろな団体の活動内容を周知していくことは重要。市の地域づくり課を中心に、毎年まちづくり活動団体の交流をしながら周知をしているが、全市民的なものになっているかは、厳しい状況。議会としても、各地で行われているまちづくりの取組を広めるには何が必要かを引き続き考えていく。	○	①	
大戸小・中学校が特認校として2年目となった。 今年新たに4名が入学してくれている。 高校生の遠距離通学への支援制度ができたのだから、昨年から要望している遠距離通学児童・生徒への支援もお願いしたい。	第27回の意見交換会においても同じ意見があった。 議会としても大事な問題として議論している。 いまのところ教育委員会の理解は得られていないが、議会としてさらに議論を深め対応していく。	○	①	
学区外から来ている児童・生徒に戸に来てよかったというような感想を確認し、広めていきたい。	ご意見として伺う。	○	②	

○ 地区別テーマでの意見交換について

→ 大戸地区のまちづくりについて ～みんなが住みよいまちのために～

※分類 ●議会に関するもの ○市政に関するもの
※番号 ①回答(処理)済 ②ご意見として伺った事項(含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	処理状況		
		分類	番号	対応
大戸からザベリオ学園に通学している児童・生徒もいる。その子たちも希望して学区外の学校へ遠距離通学していることになる。遠距離通学への補助のあり方をどのようにするかよく考える必要がある。	そのような実情もあることを含めて検討していく。	○	①	
特認校として学区外からの児童・生徒を受け入れている大戸小・中においては、転校前は不登校だった子が大戸に転校して楽しく通い続けるようになってきている実態がある。ゆえに学力の差が生じているようで、これに対応できる教員の対応が必要だ。	実態を教育委員会がどれだけ把握し対応しているかが問題であることから、今後議会としても実態把握に努めていく。	○	①	
このようなテーマの時に、今日は女性が来ていない。地域での子育ての話や、高齢者の介護などの話をしていただければ良いのではないか。	ご意見として伺う。	○	②	